

平成29年度第1回まちづくり活動支援交付金審査委員会議事録(概要)

○事務局

お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。定刻になりましたのでただ今から、平成29年度、第1回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会を開会いたします。

○事務局

今日の会議ですけど、委員定数7名のうち7名の審査委員が出席されていますので、米子市まちづくり活動支援交付金交付要綱第16条第3項の規定により、本会が成立することをご報告します。ただいまから、平成29年度第1回米子市まちづくり活動支援交付金審査委員会を開会します。

○事務局

本日の日程ですが、平成28年度に交付金を受けられた団体から事業の報告を、1団体あたり5分程度していただきます。それから、団体と委員さんとの意見交換を4時まで行ないたいと思います。意見交換会が終わりましたら、5分間休憩をはさみまして、平成25年度交付団体の事後調査、平成29年度の事業計画についてご協議をお願いしたいと思います。そういたしますと、これからの進行の方を委員長にお願いします。

○委員長（議長）

あいさつ

情報交換、意見交換会

◎環境保全の会

小波浜 湧く・ワク！親水整備事業について報告。（資料参照）

◎彦名地区チビッ子環境パトロール隊

チビッ子体験まちづくり事業について報告。（資料参照）

◎SHELTER実行委員会

第8回SHELTER～真夏の皆生海岸チャリティ海イベント～について報告。（資料参照）

◎永江地区自治連合会

第38回ながえ祭りについて報告。（資料参照）

◎NPO「ごみすてお助け隊」

非営利活動「ごみすてお助け隊」玄関から、ゴミステーションまでについて報告（別紙資料参照）

◎小窓

発達障害・知的障害児親子支援事業について報告（資料参照）

◎NPO法人鳥取県消費者協会

消費者啓発（生産現場を研察し、商品の知識を得る）について報告。（資料参照）

報告会終了

◎情報、意見交換について

○委員

「永江地区自治連合会」さんは、長年にわたって取り組んでこられ、永江地区全体の「支え愛のまちづくり」につながっています。

○団体

これからも様々な課題に沿って、事業を展開していくためには、「人」を育てることが大切です。防災訓練等を通じて中学生のボランティア活動等、「人」を育成していきたいと思います。

○団体

「環境保全の会」では、地域住民の想いを共有することによって、強い力となり、事業を進めることができました。若い世代にも更に地区内のことを知ってもらえるように活動を続けていきたいと思っています。

○団体

「彦名地区チビッツ環境パトロール隊」でも、「人」を育てることが大切であると思っています。

今回の事業が、未来を担う子どもたちにとって、環境問題に興味を持ってもらうことの良いきっかけになったと思います。

○委員

「まちづくり活動」とは、「人づくり」であると思っています。各団体のみなさんが、その視点を大切にして活動の幅を更に広げていかれることを期待しています。

○団体

「小窓」では、障がいに関する事業を実施しましたが、障がいの有無に関わらず、人は一人では生きていけないと思います。「人とのつながり」を意識して、今後も活動を続けていきたいと思っています。

○団体

「ごみすてお助け隊」においても、困っている人の手助けをする事業を実施しました。感謝の言葉をいただくことが多くあり、やりがいを感じることができました。今後は規模がもっと大きくなるように活動を続けていきたいと思っています。

○委員

皆さんが、困りごとのある人の手助けをするという、まちづくり活動支援交付金の意義が十分に反映された素晴らしい事業を実施されたと思います。今後も活動を続けるにあたっては、クリアしな

ければならない問題が出てくるかもしれませんが、そこをクリアしながら、今後も活動を継続されることを期待しています。

※5分間休憩

◎平成25年度事業実施団体事後調査について説明

◎平成29年度事業概要について説明する。

◎その他

○次回開催日について 6月2日（金）に決定する。

それでは、第1回審査委員会を終わりたいと思います。大変お疲れ様でした、ありがとうございました。